

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、24～29℃台を示し、低め～やや低めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.5kgの水揚げで、前週の25%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり88kgの水揚げで、前週の57%（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり49kgの水揚げで前週の48%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり4.8トンの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり48kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川町地区では、カンパチなどが1日1統当たり23kgの水揚げ。対馬西岸地区では、イサキなどが1日1統当たり66kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり364kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり99kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/30～8/4の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は大和碓及び山形沖で操業。赤イカは北太平洋に出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島沖～山形沖にかけて出漁した。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。漁場は壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島沖～山形沖に形成された。主漁場の山口沖は、前期より漁獲が増加したが、山陰沖は月夜に入り減少した。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

次回の漁海況週報は、令和2年8月21日（金）の発行になります。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>